



～年末年始を迎えるにあたって～ 無事故で乗り切ろう！



年末年始を控え、工事も佳境にはいってきました。また、工事現場では作業が輻輳する等の理由により、12月の工事故の発生が増加する傾向にあります。

例えば……。作業中に気が焦り、バックホウのアームを挙げたまま走行し、架空線を切断する。また、後方確認を怠り、作業員と接触する。ひとつまちがえると、大きな事故につながりかねません。

現場が片付いていなかったり、出入り口の施錠等があまく、盗難防止の対策がとられていなかったり、することもあります。

特に年末年始は工事現場を長期間閉鎖するため、人がいなくなるので、以下のことを明確に行うようにしてください。

●工事区域内への**第三者(特に子供)の侵入防止の為**、バリケード、看板等の安全設備の充実をはかり、**立入禁止区域を明確にさせてください。**

●現場内の資材の整理整頓・飛散防止・可燃物の片付け、**出入り口の施錠を確実に実施してください。**

下記に安全対策の例をのせています。参考にしていただけたらと思います。

工事現場での安全対策の例

例1

足場階段の出入り口から工事現場への侵入防止

工事現場内の出入り口を厳重に施錠し、なおかつ、扉にわかりやすいように進入禁止のステッカーを張っています。(○参照)

子供にもわかりやすいように、イラストと、ひらがなで記載してあります。強調したい部分を赤で表現しています。

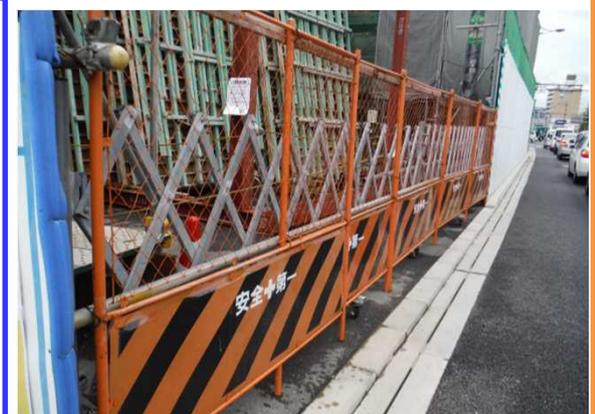


例2

交通量の多い市街地の車道に面した出入口の施錠

交通量の多い市街地道路に面した出入り口を二重にバリケードと門扉で厳重に封鎖しています。

こうすることによって工事に関係ない人や車両の進入を防ぎ、また通行する車両に対して、工事現場であること、進入はできないことを明示することができます。管理がしっかりしているとの印象も与えられます。



年末年始は、なにかと慌ただしく、事故が起きやすくなります。今一度、気を引き締めて、作業に当たってください。

少しの工夫で事故は減ります。無事故をめざして、よろしく願いいたします。

事故無しで、楽しい年末年始を！

来年も事故をへらすように努力をお願いいたします。

よいお年をお迎えください！！



近畿地区建設工事安全対策協議会合同安全パトロール



～ PC部会編 ～



平成27年11月24日、近畿地方整備局、プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部(PC建協)、元請会社との合同パトロールが行われました。現場は高架橋のPC上部工事です。現地での指摘事項、良い点を報告いたします。



良いとされた事例

灰皿と、消火器、バケツが一体化させて使用している。火災の際の対応が早くできる



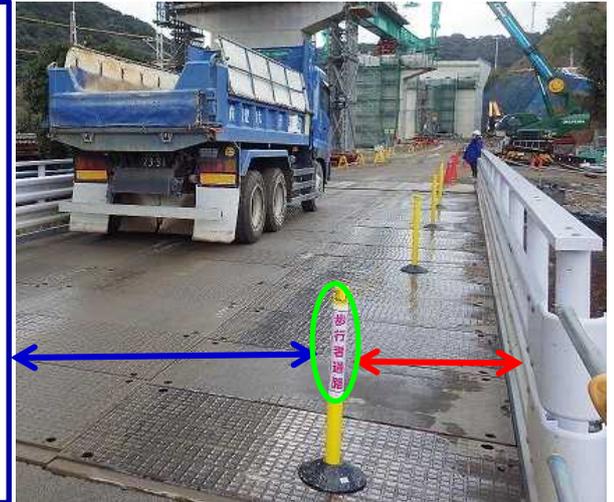
工夫した点

他工区業者と打合せを行い、仮栈橋部に歩行者道路を確保した。

赤線は作業員が通行する通路。道路と明示している。青線の範囲は工事車両が通行する道路。ポールによって、二つを明確に分けている。

また、ポールには、歩行者通路の明示をしている(黄緑の枠線内)

車両の通路、歩行者の通路を明確に分けることにより、車両との接触事故を回避することができる



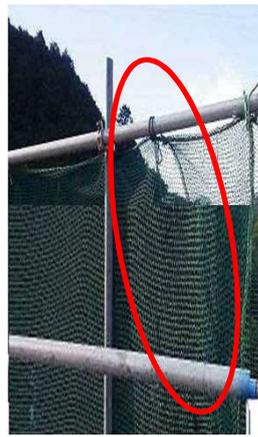
改善前

ネットの一部が外れている。工具などが落下する可能性あり



改善後

ネットの外れを修復。落下の危険性を無くすることができる



改善前

資材も、不要物も同じ場所に混在しており、いざという時に必要なものがわからない



改善後

不要物置き場を作る事により、資材と不要物が一目でわかり、分別ができる



無事故の歳末 明るい正月



建設業年末年始の労働災害防止強調期間が始まっています。年末年始は、建設工事が輻輳化し、さらに寒冷下での作業となること等により、労働災害防止に特別の配慮が必要です。無事故での年末年始を迎えられるよう、事故防止に努めて下さい。